

研究課題

生徒一人一人が自己の将来をデザインするためのICT活用

副題

～キャリアデザイン発表会の実施を通して～

学校名 石川県立金沢錦丘中学校

所在地 〒921-8151
石川県金沢市窪6丁目218番地

学級数 9

児童・生徒数 360名

職員数／会員数 21名

学校長 小山 孝成

研究代表者 西野 哲之

ホームページ
アドレス <http://www.ishikawa-c.ed.jp/~nisikj/>



1. はじめに

本校は平成 16 年 4 月に開校した石川県唯一の併設型中高一貫教育校である。1 学年 3 クラスの 120 名と中学校だけの規模では小さいが、高校から 5 クラスが加わり 8 クラス編成となるため、中高を合わせると約 1300 名以上が 1 つの校舎に学ぶ県内最大規模の学校となっている。

本校では開校以来、学校独自の教科「コミュニケーション(国語・英語・情報)」を設け、国際社会に貢献し未来を拓く主体性のある人間を育成するとともに、高いコミュニケーション能力を身に付けさせ、将来の生きる力を備えた生徒の育成をめざしてきた。

本年度、本校では貴財団の実践教育助成を受けさせていただき、開校以来続けてきた学校でのさまざまな取り組みを「キャリア教育」の視点から整理・精選しなおしてきた。その上で、中学生年代の最後に「生徒自身が夢を語ることを通して自らの背中を押し、学習意欲を持ち進学することで高校とのスムーズな接続を図りたい」との思いから、3 年生が卒業前に生徒自身の将来をテーマにコンピュータ+プロジェクト環境でプレゼンテーションする「キャリアプラン発表会」を行った。

2. 研究の目的

中高一貫校の学校では、どうしても中学校 3 年時の「中だるみ」が課題となっている。本校でも開校以来、さまざまな取り組みは実践してきたが、この課題は大きなものであった。本研究の取り組みでは、この中だるみと言われる時期に各自

が「将来をデザイン」することで、生徒の中に 6 年間という「学びの連続性」の意識化を図ることを目的としている。その上で、中高一貫教育校で学べることに誇りを持ち、自らの将来を見据え、進路を主体的に選択できる意欲・態度を育てることを意図し、生徒が自分自身の背中を押し、自己実現に向けて推進力が得られるようになることを目的としている。

さらに、生徒自身が ICT 機器を活用しながらプレゼンテーションすることで思考力、判断力、表現力の育成のみならず、学び方、問題解決能力の育成につなげ、確かな学力を育むことを期待している。

3. 研究の方法

本校ではキャリア教育活動の一環として、従来より「キャリアプラン」の作成を「進路選択を意識した活動」の最後のものとして行っていたが、あくまで個人の簡単な高校に向けた目標設定という色合いの強いものであった。

そこで、今年度より中学校のゴール・高校へのスタートとして「キャリアプラン発表会」を位置づけた。これまでも作成していた「キャリアプラン」をプレゼンテーションソフト上に全員が作成し、それをクラスの中だけでなく中学校・高校の教員の前で発表し合うことでより自分の目標を明確にし、将来を意識することを考慮した。

また、本校独自に行っている年度末の「学習成果発表会」で、このキャリアプラン発表を全学年に向けて発表し、1・2 年生は先輩のキャリアプランを見ることで 6 年間の学びの連続性と 1・2 年後の自分の姿が生徒の中に意識化されるように考えた。

生徒のプレゼンテーション能力については、本校の学校研究において「言語活用力育成」を中心テーマとして、全教科で研究授業実践や授業公開を行って表現力を高めるよう取り組んできた。さらに、学校独自の教科「コミュニケーション国語」や「コミュニケーション情報」などを中心に高度な表現力とプレゼンテーションのスキルの向上を図ってきた。こうした取り組みと、本研究とのリンクを通して、最後のキャリアプラン発表会を質の高いものにしようと実践してきたものである。

4. 研究の内容

(1) キャリアプランをイメージしていくための活動

①キャリア講演会

本校では年に8回程度の講演会を実施している(ただし学年別のものも含まれるため、1学年あたり6回程度である)。これは、様々な専門の道の方から直接お話を聞くことにより、生徒自身に自分の生き方・在り方を考えてもらおうというのが大きな主旨である。

今年度の3年生に関して言えば、以下のような講演会を行った。

6月(全体) 中谷宇吉郎・雪の科学館の館長さんにお越しいただき、石川県の偉人の一人である中谷宇吉郎の生涯について語っていただく。

7月(学年) 卒業生(錦丘高校生)と語る会：直接、先輩から高校生活や将来への考え方について話を聞き、自分のキャリア設計について考察する機会とする。

9月(学年) 学習合宿において校長先生のこれまでの人生について語っていただき、どのように進路の選択をしてきたかという経験談を聞かせていただく。

11月(全体) 現在、地元の大学でサッカー部コーチをしている元Jリーガーの方にお越しいただき、サッカーを通じた夢を追いかけている話をしていただく。



12月(全体) 地域で詩の朗読をしておいでる方から、音楽に合わせた詩の朗読を聞かせていただき、ご本人の人生について語っていただく。

2月(全体) JICAを通じてアフリカ・ニジェールで2年間青年海外協力隊として活動しておられた本校の講師の方に、国際交流のあり方について話をしていただく。

②金沢大学訪問

この活動は2年時に行っているものであるが、地元の金沢大学と連携させていただき、大学での学びというものについて意識してくる体験活動である。わずか半日の体験ではあるが、短時間でも実際に講義を聞いたり、実験棟で実験を見たり、図書館を見学したりと充実した活動をさせていただいている。本校3年生も昨年、大学を訪問し大きな刺激を受けて、

大学で学ぶことを目標にするようになった生徒も多い。また、実際に様子を見てくることで、文系・理系の選択や学部選択の意識を持ち始める生徒も多いようである。

③職場体験活動(わく・ワーク体験活動)

この活動は広く行われている職場体験であり、本校でも2年時に行っているが、本校が特徴的なのは生徒は事前学習を特に念入りに行っていることである。県の「ジョブカフェ」を訪れて適性検査を行ったり、地元放送局のアナウンサーを招いて「話し方」や「マナー」の話を聞くことを通して、「働く」ということがどういうことなのかを意識出来るようにしている。また、職場体験の様子は事後に単なるまとめ活動を行うだけでなく、互いに報告し合い、他学年にも還元して、特に下級生にはこれからの自分の姿を見せることにつなげている。

以上のような諸活動を、本校では年間を通じて実施することにより、将来に対するモチベーションを高め、中だるみを防ぐと共に、自己のキャリア設計を行う一助としている。

(2) キャリアプランを作成していくための活動

①卒業論文の作成

本校では高校入試がない分、3年生が高校にステップアップしていく節目の活動として従来より卒業論文の作成を行ってきた。これは、これまでの中学3年間の学習活動から自らの課題を見つけ、それを自分で調べてA4用紙2枚程度にまとめるものである。

今年度は、より自らの興味・関心から、今後学んでいきたいことや将来の仕事へつないでいくことを意図とした課題に取り組むように指導した。また、従来は3年の後期に卒業論文の作成をしていたが、卒業論文の活動を踏まえた上でのキャリアプラン作成を意識して、卒業論文は前期の内に作成し、クラスでの発表会も行った。

②第1回のキャリア設計書作成

11月に修学旅行を終えると、まず、これからの数ヶ月を「高校0学年」と捉え、そのスタートにこの数ヶ月の過ごし方について設計書を作成した。「学力向上のためにどう取り組むか」「生活面をどう正していくか」を中心に、苦手教科

目標設定

< 高校生活、理想と希望を具体的に記述 >

平成22年度 金沢錦丘中学校 3年生 キャリア設計書 No.2
(学年 0学年)
氏名 姓 名 姓 名

自己分析・現状分析

① 高校0学年までの振り返り
(学力面でどんな学びや学びの経験があったか) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい)

② 高校0学年までの振り返り
(生活面でどんな学びや学びの経験があったか) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい)

③ 高校0学年までの振り返り
(生活面でどんな学びや学びの経験があったか) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい)

④ 高校0学年までの振り返り
(生活面でどんな学びや学びの経験があったか) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい)

⑤ 高校0学年までの振り返り
(生活面でどんな学びや学びの経験があったか) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい)

⑥ 高校0学年までの振り返り
(生活面でどんな学びや学びの経験があったか) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい)

⑦ 高校0学年までの振り返り
(生活面でどんな学びや学びの経験があったか) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい)

⑧ 高校0学年までの振り返り
(生活面でどんな学びや学びの経験があったか) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい)

⑨ 高校0学年までの振り返り
(生活面でどんな学びや学びの経験があったか) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい)

⑩ 高校0学年までの振り返り
(生活面でどんな学びや学びの経験があったか) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい)

⑪ 高校0学年までの振り返り
(生活面でどんな学びや学びの経験があったか) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい)

⑫ 高校0学年までの振り返り
(生活面でどんな学びや学びの経験があったか) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい)

⑬ 高校0学年までの振り返り
(生活面でどんな学びや学びの経験があったか) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい)

⑭ 高校0学年までの振り返り
(生活面でどんな学びや学びの経験があったか) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい)

⑮ 高校0学年までの振り返り
(生活面でどんな学びや学びの経験があったか) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい)

⑯ 高校0学年までの振り返り
(生活面でどんな学びや学びの経験があったか) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい)

⑰ 高校0学年までの振り返り
(生活面でどんな学びや学びの経験があったか) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい)

⑱ 高校0学年までの振り返り
(生活面でどんな学びや学びの経験があったか) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい)

⑲ 高校0学年までの振り返り
(生活面でどんな学びや学びの経験があったか) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい)

⑳ 高校0学年までの振り返り
(生活面でどんな学びや学びの経験があったか) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい)

㉑ 高校0学年までの振り返り
(生活面でどんな学びや学びの経験があったか) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい)

㉒ 高校0学年までの振り返り
(生活面でどんな学びや学びの経験があったか) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい)

㉓ 高校0学年までの振り返り
(生活面でどんな学びや学びの経験があったか) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい)

㉔ 高校0学年までの振り返り
(生活面でどんな学びや学びの経験があったか) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい)

㉕ 高校0学年までの振り返り
(生活面でどんな学びや学びの経験があったか) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい)

㉖ 高校0学年までの振り返り
(生活面でどんな学びや学びの経験があったか) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい)

㉗ 高校0学年までの振り返り
(生活面でどんな学びや学びの経験があったか) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい)

㉘ 高校0学年までの振り返り
(生活面でどんな学びや学びの経験があったか) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい)

㉙ 高校0学年までの振り返り
(生活面でどんな学びや学びの経験があったか) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい)

㉚ 高校0学年までの振り返り
(生活面でどんな学びや学びの経験があったか) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい)

㉛ 高校0学年までの振り返り
(生活面でどんな学びや学びの経験があったか) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい)

㉜ 高校0学年までの振り返り
(生活面でどんな学びや学びの経験があったか) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい)

㉝ 高校0学年までの振り返り
(生活面でどんな学びや学びの経験があったか) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい)

㉞ 高校0学年までの振り返り
(生活面でどんな学びや学びの経験があったか) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい)

㉟ 高校0学年までの振り返り
(生活面でどんな学びや学びの経験があったか) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい)

㊱ 高校0学年までの振り返り
(生活面でどんな学びや学びの経験があったか) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい)

㊲ 高校0学年までの振り返り
(生活面でどんな学びや学びの経験があったか) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい)

㊳ 高校0学年までの振り返り
(生活面でどんな学びや学びの経験があったか) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい)

㊴ 高校0学年までの振り返り
(生活面でどんな学びや学びの経験があったか) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい)

㊵ 高校0学年までの振り返り
(生活面でどんな学びや学びの経験があったか) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい)

㊶ 高校0学年までの振り返り
(生活面でどんな学びや学びの経験があったか) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい)

㊷ 高校0学年までの振り返り
(生活面でどんな学びや学びの経験があったか) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい)

㊸ 高校0学年までの振り返り
(生活面でどんな学びや学びの経験があったか) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい)

㊹ 高校0学年までの振り返り
(生活面でどんな学びや学びの経験があったか) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい)

㊺ 高校0学年までの振り返り
(生活面でどんな学びや学びの経験があったか) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい)

㊻ 高校0学年までの振り返り
(生活面でどんな学びや学びの経験があったか) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい)

㊼ 高校0学年までの振り返り
(生活面でどんな学びや学びの経験があったか) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい)

㊽ 高校0学年までの振り返り
(生活面でどんな学びや学びの経験があったか) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい)

㊾ 高校0学年までの振り返り
(生活面でどんな学びや学びの経験があったか) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい)

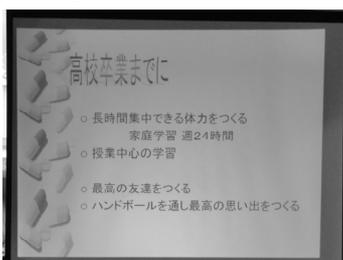
㊿ 高校0学年までの振り返り
(生活面でどんな学びや学びの経験があったか) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい) (こんな人になりたい)

の克服や、部活動にどう取り組んでいくかなどについても数ヶ月のプランを立て、保護者・担任・学年主任・部活動顧問などに見せて押印してもらう方式を取った。まず、こうした身近な目標から具体化させることで、将来までにわたるキャリア設計書を作成するきっかけとした。

③第2回、キャリアプラン設計書の作成

年が明けて1月になると、いよいよキャリアプランの作成にかかった。具体的には全生徒がパソコンを使って、自分の将来設計をプレゼンテーションできるようにパワーポイントに記入していった。パソコンの活用能力に関しては非常に堪能な生徒もいる反面、不得手な生徒も存在するため、初めてとなる今回は、全員が簡潔に以下の5枚のスライドにキーワードを中心にまとめることとした。

- 1枚目：題として将来の仕事进行を明記する。
- 2枚目：「30歳になったときの自分の在り方」として、その仕事でどのように頑張っているのかを示す。
- 3枚目：「大学時代の自分の在り方」として、その仕事に就くためにどんな学生生活を送っているのかを示す。
- 4枚目：「高校時代の自分の在り方」として、その仕事に就くためにどんな感性を磨き、目標の大学に入っていくためにどんな学習を深めていくのかを示す。
- 5枚目：「もしどこかで壁にぶち当たったら」として、どのように自分は困難を克服していくのか、その覚悟を示す。



これまでの事前の学習の成果もあり、キャリアプランの作成自体は非常にテキパキと行うことが出来たが、中には自分の将来の職業をどうしてもなかなかイメージできず、苦しみものもいたようである。

(3) キャリアプランを発表する活動

①クラスでの全員発表

2月初旬、3年生の各クラスにおいて、総合の時間を活用し3時間をかけて全員の発表を行った。残念ながら、この時には諸行事の関係で高校の先生は参観できなかったが、中学校からは校長・教頭をはじめ、時間の許す限り他学年の教員も参観に訪れ、3年生の一人一人の将来についてその夢を聞くことができた。短時間ではあったが、各自が見事にパワーポイントのスライドに記したキーワードを中心に、自分の将来をプレゼンテーションする姿が見てとれた。

②クラス代表4名×3クラスの12名による学年での発表

2月下旬、今回は3年生全員が多目的教室に集まって、学年発表の機会を設けた。この機会には高校の校長・副校長・

教頭をはじめ、何名かの先生方も参観に来ていただけた。中で非常に感銘を受けたのは、ある女子生徒の発表である。この生徒は2年生の時には登校拒否状態となりほぼ学校に来ておらず、3年時も欠席や早退、保健室登校などが多かったのであるが、ちょうどこのキャリアプラン作成の頃から、本人なりに高校への進学を意識したのだろうか、普通の学校生活が送れるようになり、見事にクラスの代表の一人として自分の夢を語っていったのである。将来に向けて自らの背中を押す活動が、もし、このような成果まで生み出す一助となっていたのであれば、この上ないありがたさである。



③学習成果発表会での全校(下級生)に向けた発表

3月初旬、市内のホールを貸し切って1年間の様々な学習成果を報告し合う会を行った。その中で3年生のキャリアプランも紹介された。残念ながら時間の都合で1点のみの報告であったが、特に下級生に向けて3年生はこうした将来の目標を全員が定めて高校へ進学していくという大きなアピールとすることが出来た。

5. 研究の成果と今後の課題

まず、最大の成果は3年生全員が将来についての夢をしっかりと言ったという点である。とかく、自分の将来について目標を語るというのは中学生年代に照れくさく、一方で、将来に関して特にこれといったビジョンも持たず何となく言われるがまま日々の学習をこなすような中学生が多い中で、120名全員が自分の将来を設計し、全員の前で語るということは、当初の研究の目的であった自己実現に向けた推進力を得られるきっかけになったと思われる。

奇しくも3年前の卒業生が当時の簡単なものであったがキャリアプランの中で「金沢大学に入って医者になる」と宣言していた。その生徒が入学時は夢物語と思われたような金沢大学医学部に今春見事に合格したのである。3年後、今の中学3年生にも大いに期待したいものである。

6. おわりに

今回の取り組みを進めるにあたり、本校では各クラスでプレゼンテーション活動が出来るように貴財団の助成金を活用させていただき、不足していたプロジェクターやデジタルカメラ、その他細かな備品などを購入することが出来た。そして生徒の素晴らしい発表につなげることが出来たと感じている。改めてこの紙面をお借りしてお礼を述べたい。